



2017年9月26日

<報道関係各位>

BSA | The Software Alliance

BSA 加盟企業、証拠保全が実施された宮城県所在の設計会社と 3000 万円で和解

BSA | The Software Alliance (本部: 米国ワシントン DC、以下 BSA) は本日、BSA 加盟企業であるオートデスク インク (以下オートデスク) およびマイクロソフト コーポレーション (以下マイクロソフト) は、宮城県の裁判所により 2017 年 5 月 30 日にビジネスソフトウェアの著作権侵害に関し証拠保全が実施された宮城県所在の設計会社 (以下 A 社) との間において、2017 年 8 月 4 日に正規品価格の合計額を上回る総額 3000 万円で和解が成立したと発表しました。

本事案は、BSA の「情報提供窓口」に報告された、A 社が BSA 加盟企業であるオートデスクおよびマイクロソフトの複数のソフトウェアを権利者に無断で複製し利用しているとの情報を端緒にしたものでした。

提供された情報を分析した権利者らは、情報提供の内容が具体的かつ詳細であったことと、権利者が把握するユーザー登録数が僅少であったことなどから、A 社が権利侵害を行っている蓋然性が高いとの判断に至り、証拠隠滅の可能性も考慮し、権利者は代理人を通じ 2017 年 4 月 17 日付で宮城県の裁判所に対して証拠保全の申立を行っていました。

同 5 月 30 日付で実施された証拠保全による検証の結果、A 社がオートデスクの「AutoCAD」 「AutoCAD LT」および「AutoCAD Civil 3D」、マイクロソフトの「Microsoft Office Professional」、 「Microsoft Office Professional Plus」および「Microsoft Excel」を権利者に無断で複製し利用していたことが分かりました。また、「Microsoft Office Professional」の一部については、商用利用の認められていない学生・教職員向けライセンスであるアカデミックパックを悪用した違法複製であったことも確認されました。なお、オートデスク製品のパソコンへの複製・削除状況については、オートデスクが作成したインストール状況を調べるプログラムを使用して検証が実施されました。

その後、A 社による著作権侵害の解決に向け、権利者であるオートデスクおよびマイクロソフトの代理人が、A 社との間で協議を進めていました。

BSA では、勤務先等における不正コピー (著作権侵害、不正インストール、ライセンス数を超えた利用を含む) に関する通報を受付ける「情報提供窓口」を開設しています。この窓口では、通報された情報のうち、通報者の個人情報については、BSA 加盟企業を含む第三者には開示されず弁護士のみが取扱い、安心して情報提供できる仕組みになっています。

ソフトウェアの不正コピーは、新たな良質のソフトウェア開発を妨げるだけでなく、ソフトウェア産業全体の成長を鈍化させる要因であり、引いては経済成長にも悪影響を与えます。また、安全で信頼できるデジタル社会実現の大きな阻害要因でもあり、その防止のためにソフトウェアメーカーが拠出する費用負担は決して小さくないのが実状です。

こうした状況の改善に向け、BSA はソフトウェアの著作権に関わる法整備支援を目的とした政策提言活動、ソフトウェア資産管理(SAM)に関するセミナー、および各種資料の配布を実施しています。BSA ホームページ(bsa.or.jp)や違法告発.com (145982.com)において組織内の不正コピーに関する情報を発信し、ソフトウェアの適正な使用のための教育啓発活動を積極的に行っています。BSAは、著作権保有社(者)の権利保護、およびソフトウェアの正規利用社(者)保護のためにも、組織内の不正コピーに対して、引き続き法的手続きも視野に入れた積極的な活動を行ってまいります。

【組織内の不正コピーについて】

企業や学校、病院など複数のコンピュータでソフトウェアを使う組織内における不正コピーのことを指しています。現在日本でもっとも多く見られるソフトウェアの不正コピー形態でもあります。例えば、1 台のコンピュータでのみ使用することが許諾されたソフトウェアのパッケージを入手して複数のコンピュータにインストールするような場合がこれに該当します。

【違法告発.com について】

「違法告発.com」(<http://145982.com/>) は、組織内の不正コピーの実態と情報提供の安全性等を広く訴求することを目的にしたマイクロサイトです。2014 年 11 月にリニューアルされ、気弱な主人公が職場に潜む不正コピーに立ち向かう姿を描いた新連載マンガ「知財×ブラック」を公開しています。このほか、過去の通報案件をヒントに組織内における不正コピーの手口を読み切り漫画で紹介する「不正コピーのある風景」、BSA 日本担当顧問が情報提供の安全性等をお答えする「BSA への情報提供が安心な 4 つの理由」、不正コピーの通報経験者へのアンケートをもとに、通報から不正コピー使用状態の改善までの貴重な体験談まとめた「私が決断した理由」の 4 つのコンテンツを中心に構成されています。

【BSA | The Software Alliance について】

BSA | The Software Alliance (BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス) は、政府やグローバル市場において、世界のソフトウェア産業を代表する主唱者です。BSA の会員は世界で最もイノベティブな企業で構成されており、経済を活性化させ、現代生活を向上させるソフトウェア・ソリューションを創造しています。ワシントン DC に本部を置き、60 カ国以上で活動する BSA は、正規ソフトウェアの使用を促進するコンプライアンス・プログラムを先導し、技術革新の推進とデジタル経済の成長を促す公共政策を提唱しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

ホームページ : <http://bsa.or.jp/>

マイクロサイト : <http://145982.com/>(違法告発.com)

Twitter 公式アカウント: https://twitter.com/BSA_100/

Facebook 公式ページ: <https://www.facebook.com/BSATheSoftwareAllianceJapan/>

組織内不正コピーに対する BSA の取り組み

BSA では組織内不正コピーの問題解決を目的に、一般から組織内不正コピーに関する情報を受付ける「[情報提供フォーム](#)*1」を設置しており、現在、有力情報に最高 100 万円*2を提供する「報奨金プログラム」を実施しています。

*1 情報提供フォームのリンク先 URL:

https://reporting.bsa.org/r/report/add.aspx?src=jp&ln=ja-JP&_ga

*2 報奨金の提供には一定の条件があります。詳しくは、同サイト内の「報奨金の適用条件」をご確認ください。

【掲載時の読者のお問合せ先】

BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス: bsa.or.jp